

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
 発行人 山崎 哲
 編集長 仲井 真裕
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
 願いに生きる人となる



ニュー新橋ビル(港区)

西徳寺の予定

5月

- 9日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
 法話:大谷 隆
- 10日(日) 午後2時半 城南ブロック会総会・間法会
 場所:大井町きゅりあん
- 13日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 16日(土) 午後2時 総代会
- 23日(土) 午後2時 定例間法会
- 24日(日) 午後2時半 城西ブロック会総会・間法会
 場所:TKPスター貸会議室 代々木
- 28日(木) 午前10時 勝友会布教大会
 場所:西徳寺・本堂

6月

- 9日(火) 午後2時 評議員会役員会
- 13日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
 法話:深澤 見弥
- 17日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 20日(土) 午後2時 定例間法会
- 21日(日) 午後2時半 城北ブロック会総会・間法会
 場所:「くいもの屋わん」・池袋西口公園店
- 28日(日) 午後2時半 城東ブロック会総会・間法会
 場所:森下文化センター

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。



5月の山門の言葉



影なくして 光はない



私たちは日々の暮らしの中で、「好き嫌い」、「善悪」、「損得」の様に、自分の思いや考えを中心として、物事を選び分けていくような生き方をしていく。簡単に言えば、自分にとって都合な物事を切り捨てていくと言ってもいいだろう。しかしながら、そのような在り方は、果たして私にとって都合の良いものとなっているのだろうか。

私は旅先や偶々訪れた場所での綺麗な景色を目にした時、カメラやスマホで撮影することが好きだ。特に自然豊かな場所に惹かれることが多く、恐らくは私が生まれ育った滋賀県の自然に囲まれた情景が脳裏に焼き付いているからだろう。

撮影に関しての知識や技術は素人レベルではあるが、十五年程の経験の中で気づかされたことがある。最初の頃は私が見た景色を、鮮明に明るく撮影することに重点を置いていたが、今となっては、それだけでは味気なく感じるようになってきた。写真の好みは人それぞれだと思うが、どうも私が惹かれた景色を収められているように思えなかった。

実際の景色と私の求めた写真との大きな違いは、「暗さ」や「影」であった。例えば、山といっても樹々が生い茂り一つの山になっている。そこには太陽の光を浴び、それぞれに影が織りなすことで、立体感や奥行きを感じる。それは、明るさだけでは感じる事の出来ない世界が、山や森のような自然、また、私たちが生活する身近な所にまで表れているからではないだろうか。

つまり、私の好む「明るさ」だけを求めた結果、味気ないと感ずるということは、「影」や「暗さ」が大きな役割を担っていたということになる。私の好むどちらか一方に偏っていくことで、実は現実・事実をそのままに見ることが出来ないのだと感じられてくる。

人生という事で言えば、苦しい思い出や失敗が「影」や「暗さ」だとすると、それもまた今の私であり、「私の分別を超えて生かされていた」という事実を念仏に教えられる。その教えに出遇った時、自身を問い尋ねていくような歩みが始まるのではないだろうか。

(大橋 伊知郎 記)



ランドマーク ニュー新橋ビル

今月は港区の新橋駅前のランドマーク、「ニュー新橋ビル」に伺いました。

ニュー新橋ビルは昭和46年に竣工した大規模な複合施設です。新橋駅西口一帯は、昭和20年5月の第3次東京大空襲（山手大空襲）で大半が焼失し、終戦後にはヤミ市が生まれました。その後、木造平屋長屋形式の「新

生マーケット」が設立されましたが、抗争事件に巻き込まれ、翌年に焼失。その後の都市開発により今の姿となっています。

地下1階から4階までは、飲食店や金券ショップ、マッサージ店、ゲーム屋、雀荘、喫茶店などのサラリーマンを対象とする店舗が約300以上あり、5～9階はオフィス、10～11階は住宅となっています。年季の入ったクセの強い店舗がひしめき合う雰囲気は独特で、おやじビルという愛称もあります。

現在また再開発の計画が立てられています。ニュー新橋ビルは建物が「区分所有」で、約320人いるとされる「区分所有者」の合意が取れず、計画は難航しているようです。



街頭インタビューで有名な新橋駅西口広場 (SL広場)

うばだいしゃ ~ 共悩共歩 ~ テーマ「時代」

優婆提舍(うばだいしゃ)論議の意。
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。
(例:浄土論=無量寿経優婆提舍願生偈)

今回は、昨年九月より西徳寺華香所に勤めていただいております、前職として長年花業界に携わり、卸売市場から花屋経営まで経験してきた加藤弘ひろさんにお話を伺いました。

■田舎で育った幼少期

私は栃木の田舎育ちで、幼稚園にも通っていません。山で遊ぶような生活でした。小学校も一クラスしかなくて、一学年で二十七人ほど。今はその学校も廃校になってしまいました。中学・高校と進み、宇都宮の学校を経て東京の大学に進学しました。卒業後はゲーム関連の会社に就職し、営業や事務の仕事をしていました。その後リース会社に転職し、合わせて五年ほど勤めました。

■花業界との出会い

田舎で育った影響もあったと思うんですが、もともと花が好きだったんです。大学時代も一人暮らしの部屋に花を飾るような生活をしていました。

それで「花屋で働きたい」と思って探したのですが、なかなか見つからなくて。まずは関連する仕事と思い、中央区の新川にあった卸売市場に就職しました。朝早くから市場に行って仕入れをし、夕方には競りを行うという仕事です。大田市場などから花を仕入れて、新川の市場で販売していました。その会社は市場と花屋の両方を経営していて、最終的に

花屋の店舗に入るようになりました。

本当は独立して花屋を開業したかったのですが、いつの間にか、専務、そして社長へと就任することになり、辞めるに辞められなくなりました。最終的に社長として十五年ほど経営に携わりました。

■繁忙期は食事もできないほどの忙しさ

とにかく忙しかったですね。特に年度末や送別シーズンには、昼食も取れないほど。一人に対して花束が何個も贈られる時代で、前日から作り続けることもありました。結婚式の装花なども手がけていて、土日に何件も対応することもありました。

一時は十店舗以上展開していました。山梨や都内、ホテル内の店舗などもありました。従業員も多く、組織としての運営も大変でしたね。

■花業界の変化と現状

正直、かなり厳しいと思います。最近では花屋がものすごく増えた上に、スーパーなどでも気軽に花が買えるようになりました。今は「高品質な花を扱う専門店」か「大量販売型」か、二極化しています。そんな中では、個人経営の花屋は厳しい状況だと思えますね。

体力的にも年齢的にも厳しいの

で、今は花屋を開業しようとは思っていません。ただ、花が好きなのは昔も今も変わりません。見ていると落ち着きますし、自宅でも育てています。縁あって花吉生花店の榎本さんの紹介によって華香所で働かせただくことになって、また花と関われる仕事ができている嬉しいです。

田舎で自然に触れながら育ち、やがて花に魅了され、気づけば四十五年。市場、店舗、そして経営者として花業界を見続けてきた加藤さんの言葉には、重みを感じました。花を取り巻く環境が変化する中でも、「花が好き」というシンプルな想いを大切にされている加藤さん。お墓参りに来られた際は、是非お気軽にお声がけください。

(聞き手 蓮井 邦志)



加藤さん(右)と聞き手蓮井(左)

評議員会総会

4月19日(日)、西徳寺本堂にて「令和8年度評議員会総会」を開催いたしました。

小田責任役員総代、山崎住職の挨拶後、昨年度の報告と、新年度の事業計画案・予算案等をご審議いただき、承認いただいたことをご報告申し上げます。

会員の皆様には何かとご負担をお掛けいたしますが、各種間法会、各種行事へのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

(担当：大橋 伊知郎 記)



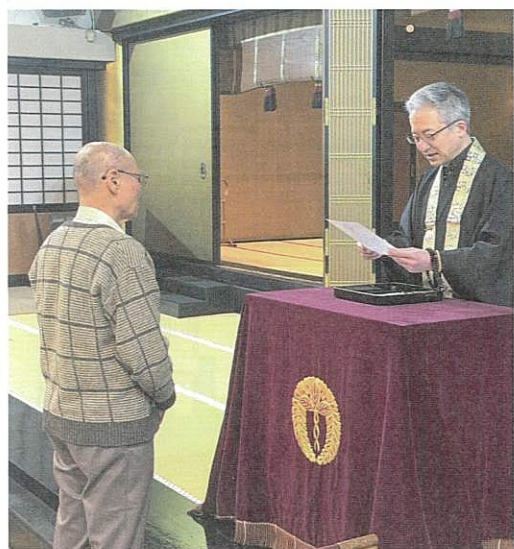
同行会修習式

3月28日(土)、本堂にて同行会修習式を執り行い、山崎住職から修習証の授与がありました。

また、石井会長より挨拶を頂戴し、「今年1年も皆さまと一緒に教えを聞いていきたい」と延べられました。

親鸞聖人が明らかにしてくださった教えに、今一度、我が身を問い尋ねていけるような学びの場となればと思っております。

(担当：大橋 伊知郎 記)



新職員紹介 ひろし 丸山 博司

3年間、華香所に勤めておりました深澤見弥君がこの4月より、寺務所に異動となりました。

それにともない、華香所職員として丸山博司さん(70才)が入寺されました。丸山さんは10年程、文京区のお寺でお掃除など管理業務をされていた実績もあり、すでに即戦力となっております。これからは高橋さん、加藤さん、丸山さんの3人体制にて華香所を運営してまいりますので、お気軽にお声がけしてください。よろしくお願いいたします。

住職 山崎 哲



西徳寺本堂令和大改修

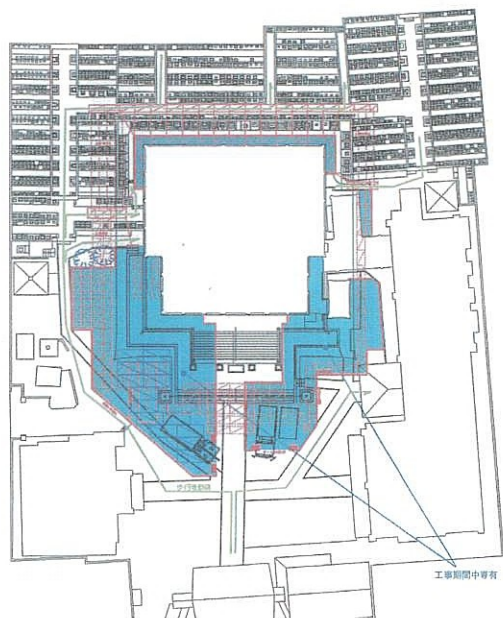
10月より大改修に伴う「足場」の範囲が清水建設より提示されました。(下記図)

組み立て時は墓参が出来ないなど、エリアによってはご迷惑をおかけいたします。詳細は該当墓所の方々に、今後ご連絡をさせていただきます。

また、ご門徒の皆様(施主)には昨年、趣意書とともにご寄付のお願いをさせていただいております。多くのご協力を賜っておりますこと、感謝申し上げます。

現在は境内に芳名版を出ささせていただいておりますが、本堂改修後に本堂内の補強壁に改めて「寄付者芳名版」を設置いたします。(イメージ図)なお、当ご寄付は施主でない方にもご協力いただいております。引き続き、ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

住職 山崎 哲



足場イメージ図



本堂芳名板イメージ

合唱団総会報告

去る4月18日に混声合唱団「エコー」総会が開かれました。昨年は10周年記念コンサートを無事に終了することができるなど、節目の年でありました。新年度にあたり、私は今まで担当でありましたが、このたび団長を仰せつかることとなりました。初めての人も楽しめる団作りに貢献したいと思います。

(新団長 兼担当：高橋 淳 記)



山崎住職の挨拶



坊さんのツブヤッター

祝！ご入学



@ホウシュウ

この度、長女が小学校に入学しました。コロナが蔓延する少し前に生まれ、気が付けば6年が経ちました。自分の背中より大きなランドセルを背負って、頑張ってくれていることを願っています。

#ピッカピカの #友達100人



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

新潟県	梵行寺 様
埼玉県	和田 誠一 様
愛知県	西村 知津 様
荒川区	熊谷 信一 様
港区	安井 均 様
板橋区	木下 順子 様
江戸川区	谷 晋一 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

夕飯時にテレビのニュースを付けると、トランプ大統領を中心とした国際問題や戦争の話題、または殺人事件や経済の不安を煽るような暗いニュースばかり…。子どもに見せないよう、チャンネルを変えることがよくあります。

しかし落語家の立川談志さんは、「明るいことがニュースになったらしょうがないですよ。」重大ニュースのトップ、東京都にはまだ親孝行の青年が2人いました"なんていうんじゃどうにもなんない。暗いことがニュースになってるうちは世の中明るいのに」と言っていたそうです。

確かに世の中には表と裏、明るさと暗さが混在しています。世界の人口が82億を超える中、ニュースのように表に出されるものを、善悪で判断するのは軽すぎるのかもしれませんが。82億人が同時に生きているのが今なんだなあと考えながら、深夜のニュースをお酒を片手に観ています。

(編集長 仲井 真裕 記)



新橋駅の狭いホーム

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。